

はじめに

(令和6年度事業の概要)

1. 背景

近年、我が国における交通事故死者数は減少傾向にあるものの、交通事故が国民全体の重大な問題であることに変わりはない。そして、交通事故による被害者やその家族・遺族は、事故後、深い悲しみやつらい体験から、様々な悩みを抱えながらの生活を強いられており、交通事故被害者等に対する支援の一層の充実が必要である。

2. 目的

交通事故被害者等（交通事故に遭った被害者やその家族・遺族をいう。以下同じ。）が、深い悲しみやつらい体験から立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような環境を醸成し、交通事故被害者等の権利・利益の保護を図ることを本事業の目的とする。

3. 事業の概要（敬称略）

（1）交通事故で家族を亡くしたこどもの支援に関するシンポジウム

（令和6年11月11日（月）・神奈川県、ライブ配信及びオンデマンド配信）

今年度は、テーマを「交通事故で家族を亡くしたこどもの支援」として、専門家による講演や対応事例の紹介、体験談の発表等によるシンポジウムを開催した。

●基調講演「大切な人を失ったあとに：

子どもの悲嘆とそのケアについて、認知行動療法からのヒント」

講師：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター
研究開発部長 伊藤 正哉

●対応事例「交通事故で家族を亡くしたこどもの心のケアとサポート」

講師：臨床心理士・公認心理師 山下 由紀子

●体験談の発表

遺族：吉田 陽向（平成14年（当時1歳）、父を交通事故で失う）

水木 紗穂（平成15年（当時9歳）、姉を交通事故で失う）

●質疑応答

コーディネーター：

飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事
井上 郁美

(令和6年度交通事故被害者サポート事業検討会委員)

専門家:

元同志社大学教授 川本 哲郎

(令和6年度交通事故被害者サポート事業検討会座長)

(2) 交通事故被害者等支援に関する意見交換会

(令和6年11月11日(月)・神奈川県)

交通事故被害者等の支援に向けて、関係担当者間の連携を強化し、支援業務の充実を図るため、テーマを「交通事故被害者等支援に係る関係機関の連携強化」として、事例紹介と意見交換を行った。

- 出席団体による事例紹介「死傷者多数の交通事故事件における関係機関の連携強化」

講師：神奈川県警察本部交通部交通捜査課調査官 高橋 一成

- 出席団体による事例紹介「被害遺児を各種イベントに招待する施策について」

講師：警視庁総務部企画課犯罪被害者支援室被害者相談係係長 菅原 卓人

- 出席団体による事例紹介「交通事故被害者等支援について」

講師：山梨県警察本部交通部交通指導課次席 一杉 公介

- 各県ごとにグループに分かれて意見交換

- 意見交換の共有

(3) 自助グループ運営・連絡会議

(令和6年10月7日(月)・オンライン開催)

交通事故被害者等に接する立場にある者の資質の向上を図るとともに、交通事故被害者等の自助グループ(「同じようなつらさを抱えた者同士が、お互いに支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図り、被害に遭う前の平穏な生活を再び取り戻す」ことを目的に集うグループのことをいう。以下同じ。)の必要性や自助グループを取り巻く環境に対する理解を深めることによって、被害者の回復のための自助グループ活動の促進や自助グループ設立の支援に資するため、テーマを「交通事故被害者等団体による自助グループ活動の紹介」として、専門家による講演と事例紹介を行った。

- 講演「自助グループの意義とは」

講師：武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科准教授 大岡 由佳

- 事例紹介「「ピア・神奈川」の被害者支援」

講師：被害者支援自助グループ「ピア・神奈川」代表 渡邊 治重

- 事例紹介「生命のメッセージ展これまでとこれから」

講師：NP0 法人いのちのミュージアム代表理事 鈴木 共子

- 質疑応答

本事業は、いずれも警察庁が株式会社アステムに委託して実施した。

4. 検討会

(1) 目的・内容

被害者学、心理学、被害者支援、遺族心理に関する有識者からなる交通事故被害者サポート事業検討会を設置し、令和6年度交通事故被害者サポート事業の実施方針、実施方法、事業総括等について検討する。検討会は、有識者7名の検討会委員により3回開催し、各事業の進捗状況の管理を行うとともに、事業報告書等を作成する。

(2) 委員（敬称略・順不同）

- ・元同志社大学教授 川本 哲郎（座長）
- ・飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事 井上 郁美
- ・（公社）全国被害者支援ネットワーク理事 和氣 みち子
- ・武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科准教授 大岡 由佳
- ・（公社）被害者支援都民センター犯罪被害相談員、
（NPO 法人）いのちのミュージアム理事 中土 美砂
- ・追手門学院大学心理学部心理学科教授 櫻井 鼓
- ・警察庁交通局交通企画課交通安全企画官 牧 丈二

(3) 開催概要

①第1回検討会（令和6年7月24日（水）・オンライン開催）

- ・令和6年度交通事故被害者サポート事業の実施方針及び実施方法等

②第2回検討会（令和6年12月17日（火）・オンライン開催）

- ア 交通事故で家族を亡くしたこどもの支援に関するシンポジウムの実施結果報告
- イ 交通事故被害者等支援に関する意見交換会の実施結果報告
- ウ 自助グループ運営・連絡会議の実施結果報告
- エ 令和6年度交通事故被害者サポート事業報告書 目次案の報告

③第3回検討会（令和7年2月18日（火）・オンライン開催）

- ア 令和6年度交通事故被害者サポート事業報告書最終案検討
- イ 本年度事業総括

※各章における講演や体験談等の記述については、被害者等の方々の率直な思いを尊重してまとめたものです。また、掲載することにつき御本人の同意を得ております。